

【チームよこはま】

「観光・交通・住民生活を連携・融合するオープンデータプラットフォーム」

～生活者・観光客の混雑分散、バス活用、そして移動円滑化～

社会課題テーマの設定	2020年のオリンピック・パラリンピックに向け、横浜市および神奈川県に多くの来街者を誘致するために、住民の移動手段に及ぼさないよう、来街者・住民双方が安心して移動するための支援を行う（おもてなし交通と生活交通）
解決アプローチ	従来の経路案内手法では、大勢の利用者に同一の経路情報が提供されてしまうことにより、新たな混雑を呼ぶ懸念があった。そこで、 <u>人の移動に関する動的な情報をミックスすることにより</u> 、リアルタイムに状況を把握するとともに、利用者の嗜好や状態など個人情報の要素を加えて、 <u>パーソナライズ化した案内を提供</u> することで、来街者・住民双方にストレスのない移動を支援する。
作品概要	パーソナライズ化した混雑緩和型移動支援サービス
利用する公共データ	・市営バスのリアルタイム情報（横浜市）、通行規制情報（横浜市）、イベント情報（横浜市）等 ※データによっては蓄積されていないものもあったが、公開にあたってのルール作りを進め、前向きに検討していくとの回答をいただいている。

